

霧島山

○概況

22 日と 26 日に御鉢付近が震源とみられる火山性微動が発生し、22 日の微動発生直後から 23 日にかけて火山性地震がやや多くなりました。

○噴煙活動の状況

期間中、霧島山で噴煙は見られず、噴気等の表面現象に大きな変化はありませんでした。

○地震活動の状況

気象台震動観測点 A 点（新燃岳の南西 1.7km）及び東京大学地震研究所・高千穂西観測点（御鉢の西 1.1km）で、22 日と 26 日に火山性微動を各 1 回観測しました。高千穂西観測点によると、微動継続時間は 22 日が 16 分で、26 日は 1 分でした（図 2）。また、御鉢付近が震源とみられる火山性地震は、微動が出現した 22 日から 23 日にかけてやや多くなりましたが、その他の期間は地震の少ない状態で推移しました。高千穂西観測点の 7 月の地震回数は合計 79 回で、6 月（141 回）より減少しました。1 日あたりの回数がもっとも多かったのは 23 日の 21 回でした（図 1）。

気象台震動観測点 A 点で観測した火山性地震は、7 月は合計 49 回と 6 月（157 回）より減少しました。

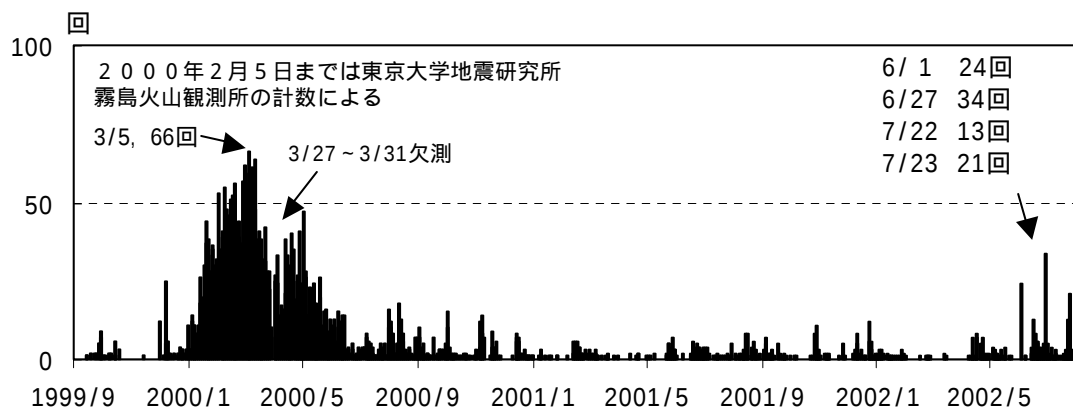


図 1 御鉢付近を震源とする地震の日別回数（1999 年 9 月～2002 年 7 月）

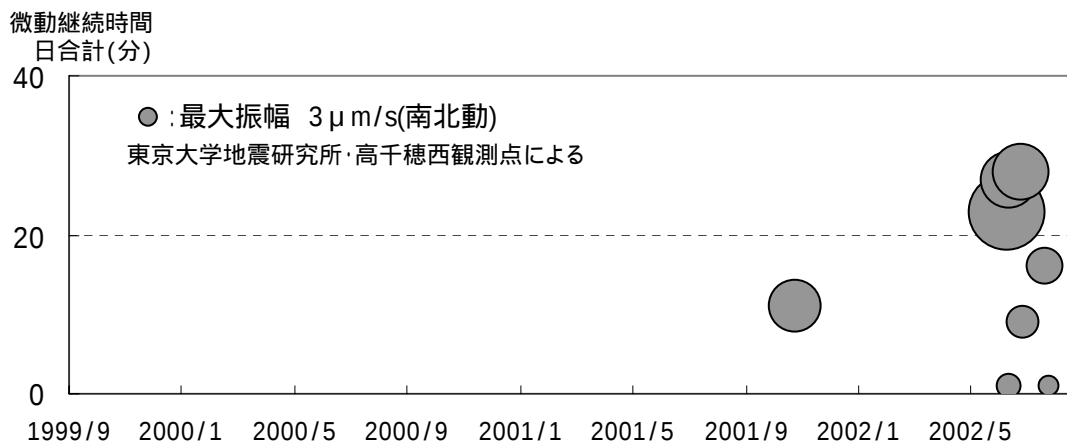


図 2 御鉢付近を震源とする微動の発生状況（1999 年 9 月～2002 年 7 月）

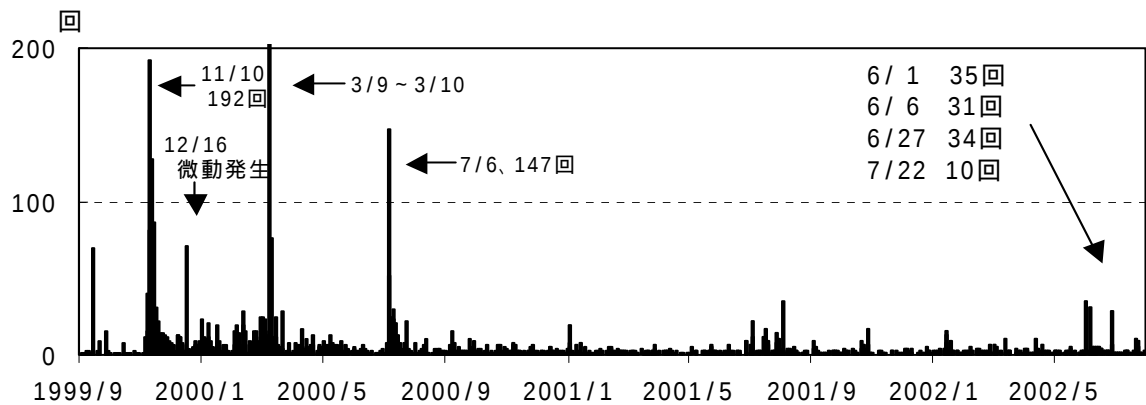


図3 震動観測点A点の日別地震回数（1999年9月～2002年7月）

○現地観測の結果

気象台が7月8日に実施した御鉢火口の現地観測では、火口底噴気地帯の噴気量や噴気の高さに変化は見られませんでした。

○地殻変動活動の状況

GPSによる地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原の各観測点間の基線長に変化は見られませんでした(図4)。

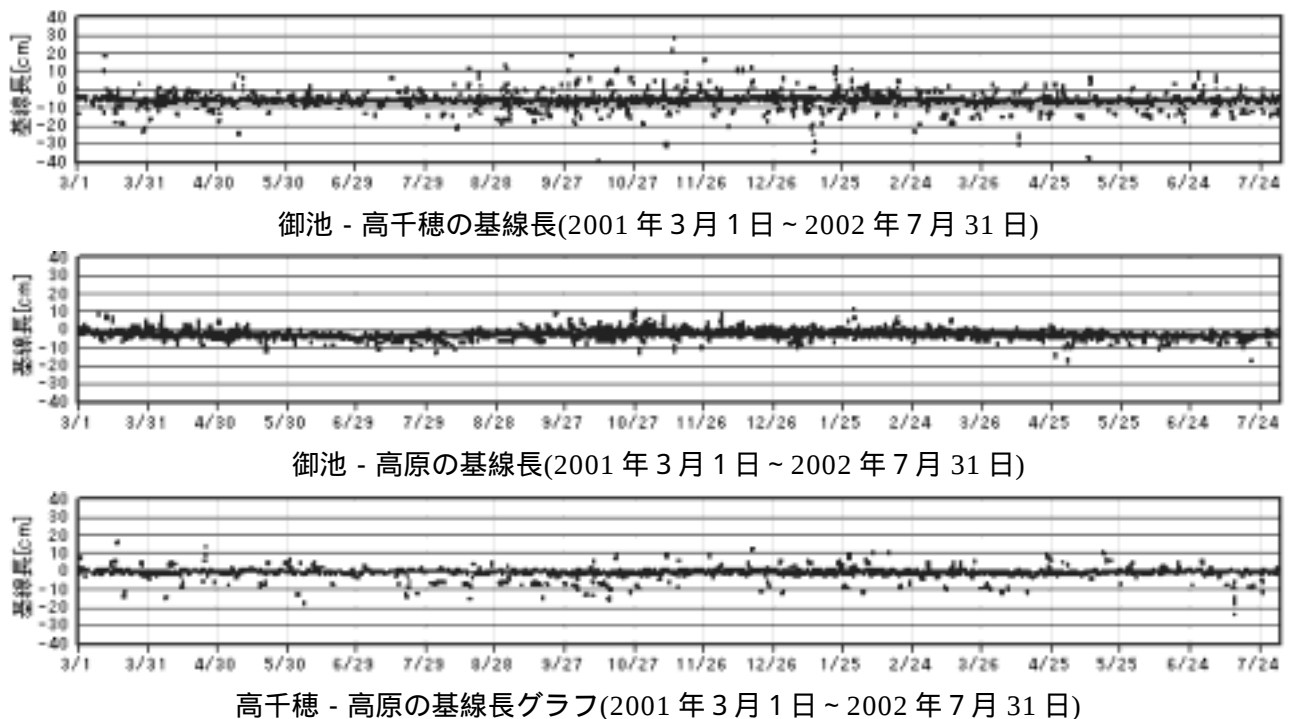


図4 GPSによる基線長

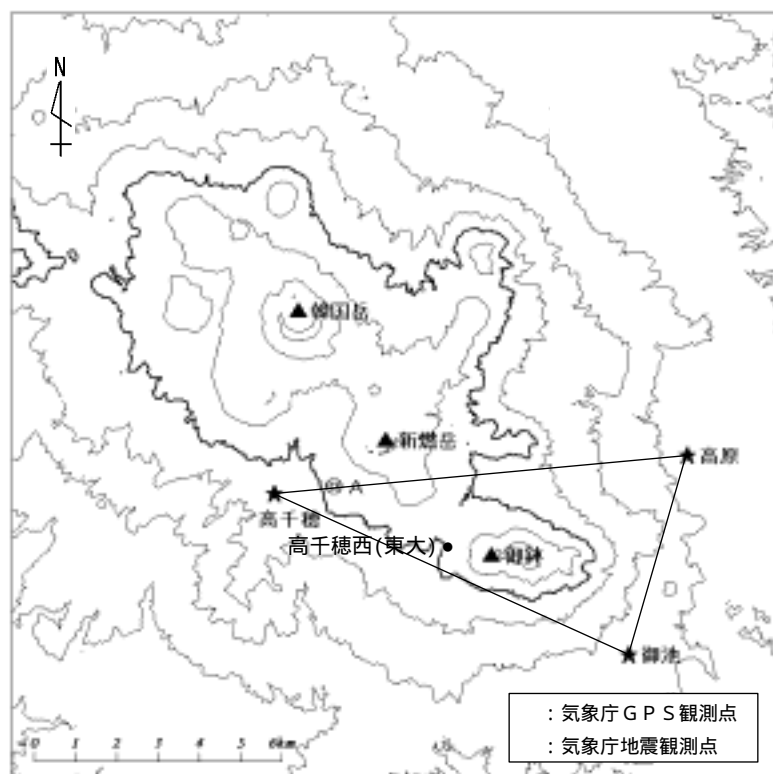


図 5 観測点位置図